

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

目利きは日々同じことの繰り返しから生まれる 高柳 正盛 (日経トップリーダー編集長)

1. 今、わが国は、先行きが厳しいことは間違いないでしょう。とはいえ、中小企業経営者は手をこまねいているわけではありません。過酷なグローバル競争にさらされても、「自分の会社は絶対に勝ち抜く」という気概で、改革に取り組むしかありません。その一步は日々の仕事から始まります。コツは「何か変だ」と感じることにあります。
2. 「目利き」は、日々同じことを繰り返すことから生まれると言われます。毎日玉ねぎの皮をむいていると、質の違う玉ねぎが納品されたときに「おかしい」と気付く。経営が乱れることを察知する力も同じでしょう。日々の何気ない仕事から会社のたがが外れていることを見抜く。これこそが躍進の礎なのです。
3. 肝心なのは、「あれっ」と思うことがあったら、それを決して見過ごさず、検証することです。そして改めるべきことがあれば、すぐに改善するのです。後回しにはしてはいけません。そうした一見地味な取り組みが重要なのだと肝に銘じることが大切です。それこそが強い企業の要諦なのです。

(参考:「日経トップリーダー」2010年8月号)

経営者のための社会学

单身急増社会 藤森 克彦 (みずほ情報総研主席研究員)

1. 1985年789万だった日本の単身世帯は、2005年に1446万世帯と20年間で2倍近くに急増した。今後も全人口が減少しながら、「非婚社会ニッポン」では、中高年男性を中心に单身化が急速に進むという。単身世帯の比率は、今(2005年)の30%から、25年後の2030年には37%にさらに上昇すると予測している。中高年の一人暮らしの要因には、人口要因は薄れ、質的な変化の影響が強まる。配偶関係と、親子の同居関係での変化だ。
2. 単身世帯は、配偶者と死別、離別した人、あるいは未婚の人が増えれば増加する。もう1つ、子どもと、あるいは親と同居しなくなる。つまり子の独立が増えれば増加する。男性の場合50代、60代でも未婚の伸びが大きい。離別も多い。実際に未婚者の割合は、1985年に男性の40代で6.1%だったのが、2005年には19.6%にも跳ね上がっている。この事実は、2030年における60代の配偶関係に伴う单身者増も裏付ける。

(参考:「週刊東洋経済」:2010年6月19日号)

経営者の理念・哲学

日本人として誇りを甦らせる

瀬戸 謙介 (瀬戸塾塾長)

1. 武士道にしても論語にしても、子供たちに伝えたいことは、日本人としての誇りを甦らせて、これからの日本を背負って立つ人間を育て、日本をいい国にしていくことです。いまの自分たちがあるのは、ご先祖様たちが二千何百年にもわたって営々とこの国を築いてこられたおかげです。
2. 日本のように安定したいいい国はないです。そのかけがえのない日本が、このままでは絶対に崩れてなくなってしまいます。いま何が一番いけないかという、子供たちに自分の国に対する誇りが無いんです。自信が無いんです。それは歴史を大切にしていないし、ご先祖様を大切にしていないんです。それを何とか甦らせたいというのが、私の切実な思いなのです。

(参考:「致知」2010年9月号)

古典に学ぶ

仕事のなかで自分を磨け

「人はすべからく事上に在って磨錬し、功夫を做すべし。乃ち益あり」

(訳) 洞察力や先見力を身につけるためには、「歴史に学べ」「古典に学べ」と言いました。しかし、それだけでは十分とは言えません。この上何が必要なのか。「人は毎日の生活や仕事のなかで自分を磨かなければならない。そうあって初めて効果があがるのである」ということです。

(参考:守屋 洋「リーダーのための中国古典」)日本経済新聞社